

令和元年東日本台風による浸水に関する防災ワークショップ

～マイ・タイムラインの作成～

○目的

マイ・タイムラインの作成

○目次

1	令和元年東日本台風	P. 3 ~ 8
2	令和元年東日本台風による浸水に関するこれまでの対策	P. 9 ~ 14
3	令和元年東日本台風による浸水に関するこれまでの対策(ソフト対策)	P. 15 ~ 19
4	堤防の決壊(平成27年9月関東・東北豪雨)	P. 20 ~ 25
5	マイ・タイムライン	P. 26 ~ 29
6	洪水ハザードマップ	P. 30 ~ 39
7	防災情報	P. 40 ~ 45
8	マイ・タイムラインの作成(話し合い)	P. 46 ~ 49

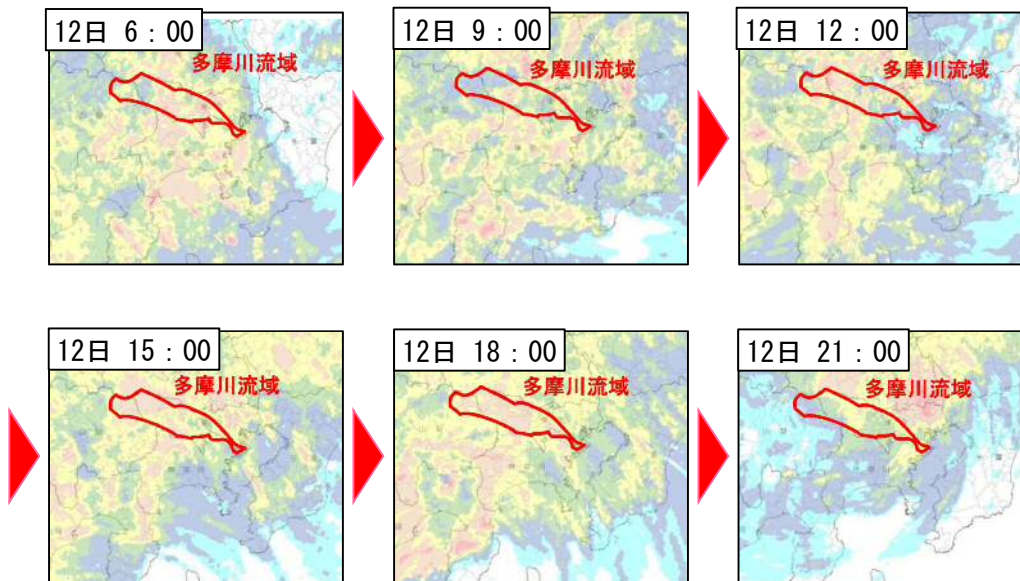
1 令和元年東日本台風

令和元年東日本台風の概況①

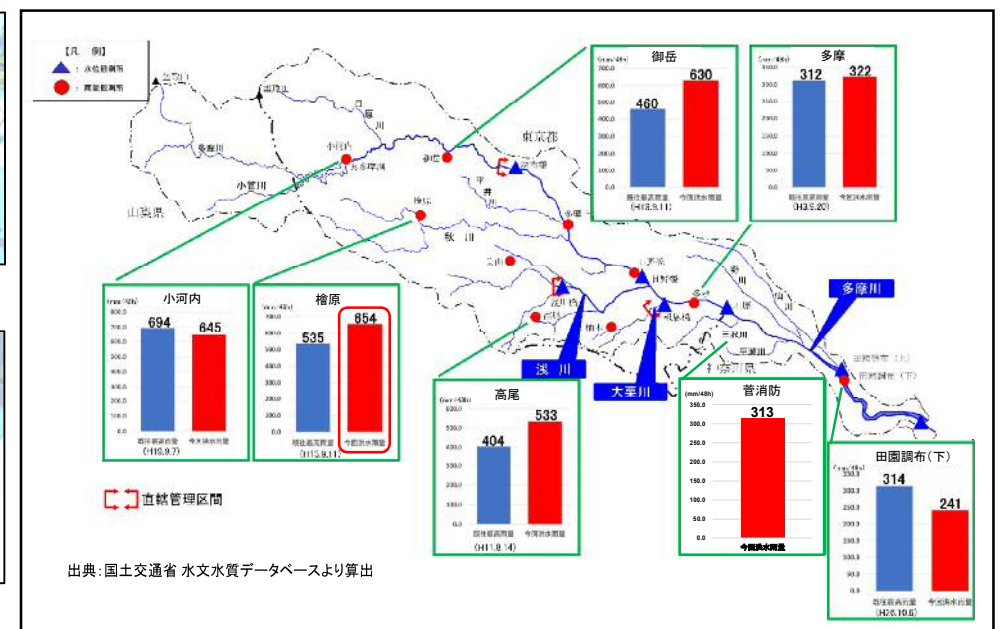
令和元年東日本台風時の気象状況等

- 台風本体の発達した雨雲や台風周辺の湿った空気の影響で、東日本の広範囲に強い雨域がかかり、大雨となった。
- 多摩川流域の檜原雨量観測所、御岳雨量観測所等においては、観測を開始してから最多の雨量を観測した。

気象状況



降雨量



多摩川流域(山梨県、東京都、神奈川県)においても、記録的な大雨となった。

多摩川上流で多くの雨が降った(檜原: 2日間で654mm)。

令和元年東日本台風の概況②

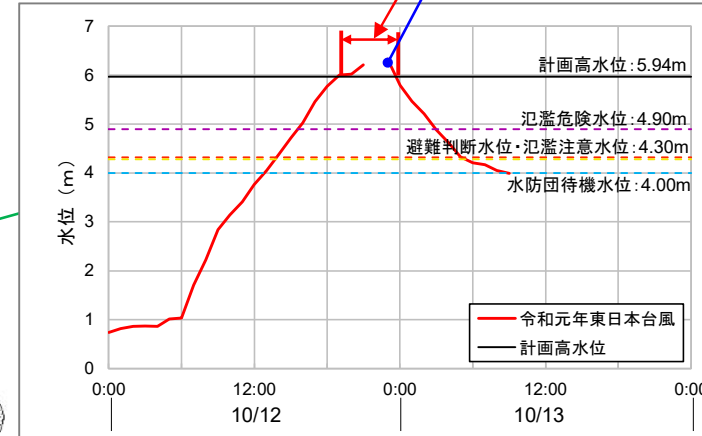
多摩川の水位状況

- 石原水位観測所では4時間、田園調布(上)水位観測所では3時間にわたり計画高水位を超過した。

水位状況



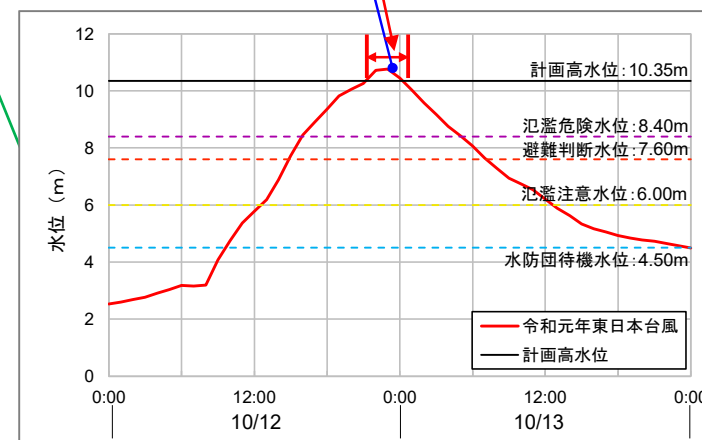
石原水位観測所



最高水位 : 6.33m

12日19時～23時までの
4時間にわたり計画高水位を超過した。

田園調布(上)水位観測所



最高水位 : 10.81m

12日21時～13日0時まで
の3時間にわたり計画高水位を超過した。

令和元年東日本台風による浸水被害①

- 多摩川では、令和元年東日本台風により河川水位が上昇し、東京都世田谷区玉川で溢水するなど、各地で浸水被害が発生した。

被害状況



避難状況

市区	最大避難者数	備考
大田区	11,791人	
世田谷区	5,376人	
拍江市	3,966人	
調布市	約6,000人	
府中市	約8,280人	
稲城市	3,481人	
多摩市	2,583人	
川崎市	約33,150人	死者1名

※東京都 報道発表(2019年11月29日)「令和元年台風第15号及び第19号等に伴う防災対策の検証」より
 ※川崎市 東京新聞(2019年11月12日)

令和元年東日本台風による浸水被害②

● 多摩川などの水位が上昇し、河川や排水樋管周辺地域で浸水するなど、甚大な被害が発生した。

主な浸水箇所※



※住家への浸水被害が10件以上あった箇所を記載

被害概要(全市)

項目	状況等
人的被害	死者 1名 軽傷者 7名
住家被害	全壊 33件 半壊 948件 床上浸水 1,258件 床下浸水 411件
避難勧告及び避難指示(緊急)	洪水 446,618世帯 915,773人 土砂 42,800世帯 93,627人 高潮 23,180世帯 43,410人
最大避難者数※(内訳)	33,150人 (川崎区: 6,070人、幸区: 3,870人、中原区: 8,830人、高津区: 5,240人、宮前区: 480人、多摩区: 8,040人、麻生区: 620人)

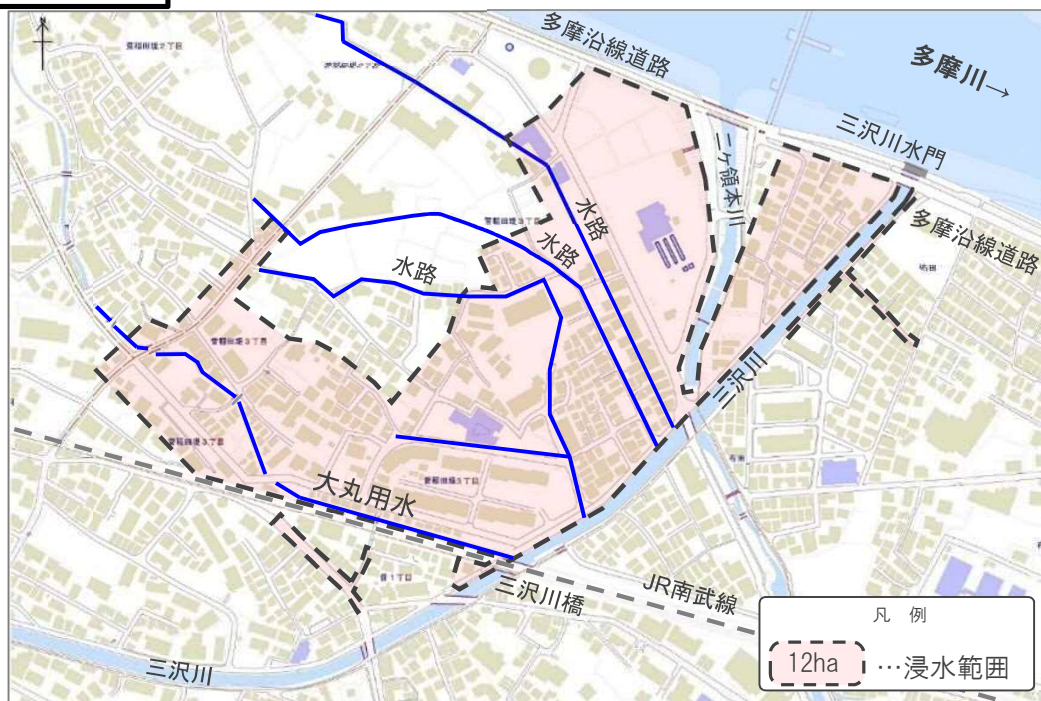
※避難勧告・避難指示(緊急)発令期間中の概数

出典:令和元年度川崎市の災害概要(令和2年8月 川崎市)

令和元年東日本台風による浸水被害③

- 三沢川 (JR南武線三沢川橋梁周辺) 地域では、多摩川、三沢川の水位が上昇し、三沢川に接続する水路からの越水、三沢川の護岸上部のアクリル板からの漏水、及び管理用通路の水抜き穴からの浸水が発生した。

浸水範囲



出典: 令和元年東日本台風による排水樋管周辺地域及び河川関係の浸水に関する検証報告書(令和2年4月 川崎市)

被害概要(多摩区)

項目	状況等
人的被害	軽傷者 1名
住家被害	半壊 菅稲田堤3丁目 5件 上記以外 5件 床上浸水 菅稲田堤3丁目 169件 菅稲田堤2丁目 3件 布田 2件 上記以外 63件 床下浸水 菅稲田堤3丁目 36件 布田 13件 菅稲田堤2丁目 3件 菅1丁目 3件 上記以外 62件
避難勧告及び避難指示(緊急)	洪水 74,073世帯 148,887人 土砂 11,613世帯 22,994人
最大避難者数	8,040人

浸水状況



三沢川管理用通路の浸水状況



菅住宅付近の浸水状況

出典: 令和元年度川崎市の災害概要(令和2年8月 川崎市)

2 令和元年東日本台風による浸水に関する

これまでの対策

これまでに実施した浸水対策①

- 令和元年東日本台風による浸水を受け、対策を実施。

三沢川のフラップゲートの設置・補修

○対策内容

管理用通路の水抜き穴にフラップゲートを設置。
既存フラップゲートのゴムパッキンを補修。

○対策実施者

神奈川県・川崎市



管理用通路の水抜き穴（神奈川県）



設置前



設置後



既存フラップゲート（川崎市）

ゴムパッキン交換後

大丸用水の流下能力の向上

○対策内容

大丸用水の流下能力を向上させる工事（ライニング工事）を実施。
また、大丸用水の浚渫を実施。

○対策実施者

川崎市

・ライニング工事



工事前



工事後

大丸用水樋門の改修

- 対策内容
三沢川からの逆流を防止する機能を回復するため、大丸用水樋門を改修。
- 対策実施者
神奈川県



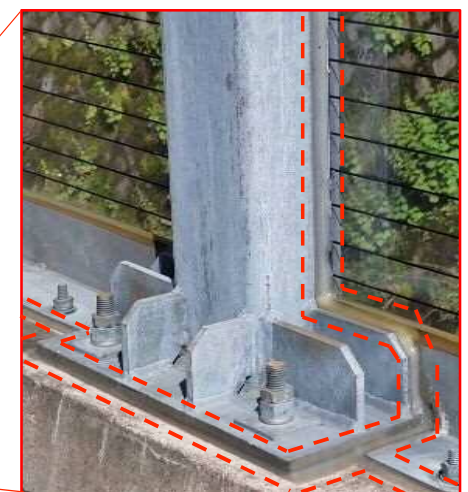
改修前



改修後

三沢川の護岸(アクリル板)の補修

- 対策内容
三沢川の護岸上部のアクリル板の目地を補修。
- 対策実施者
神奈川県



アクリル板目地補修後

ポンプ施設の設置・移動式ポンプの配備

- 対策内容
 - ・大丸用水の三沢川への接続部付近に大丸用水の水を三沢川へ排出するポンプ施設を設置。
 - ・移動式ポンプを4機配備。
- 対策実施者
川崎市



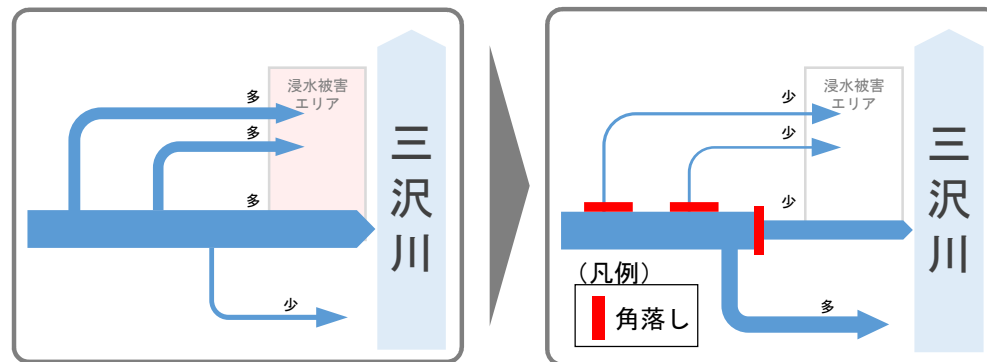
ポンプ施設



移動式ポンプ
(吐出量3.3m³/min × 4台)

大丸用水の流量の低減

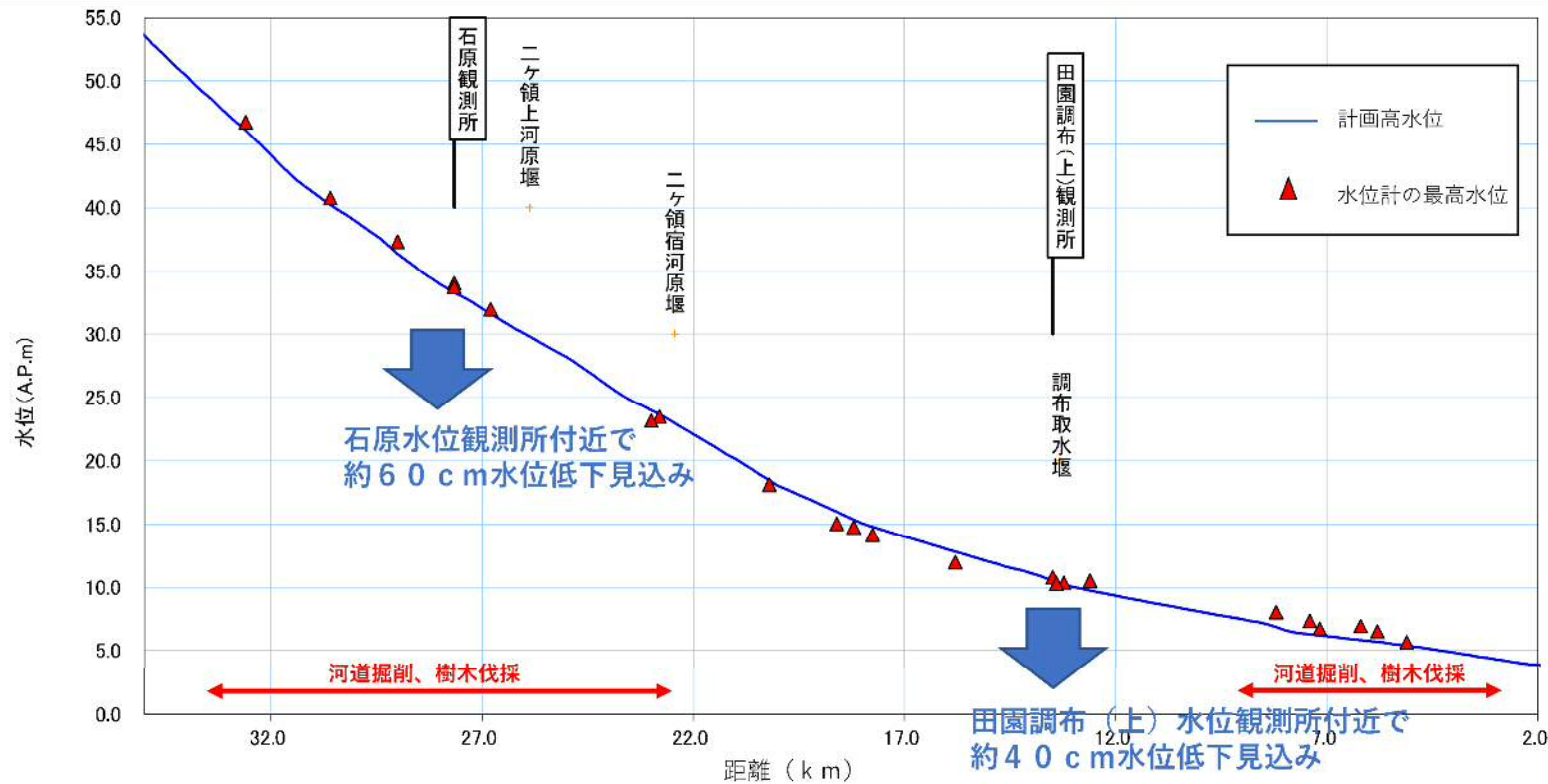
- 対策内容
 - ・大丸用水から浸水地域への流入量低減を図るため、大丸用水の上流で分水させる取組を実施。
- 対策実施者
川崎市・稲城市



分水イメージ

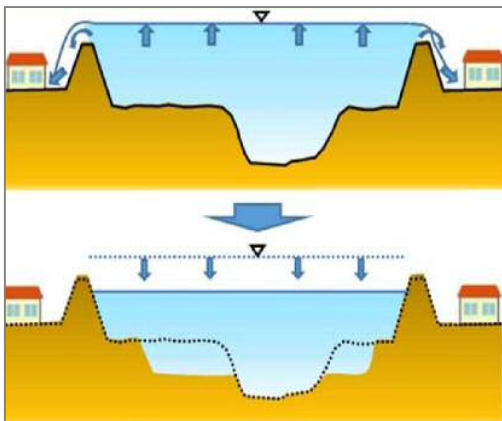
多摩川緊急治水対策プロジェクト①

- 令和元年東日本台風と同規模の洪水に対して、河道掘削、樹木伐採などを実施し、水位を低下させ、多摩川からの氾濫を防止。



河道掘削

- 河道の流下能力を向上させるため、河道内の土砂掘削を実施し、水位の低減を図る。



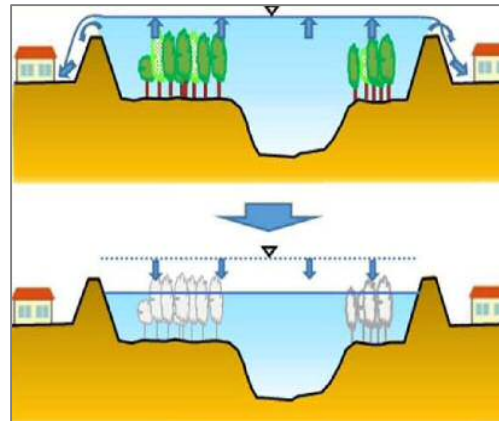
R2多摩川上河原堰上流
河道浚渫工事



R2多摩川六郷
河道浚渫工事

樹木伐採

- 河道の流下能力を向上させるため、流れを阻害している樹木を伐採し、水位の低減を図る。



伐採前



伐採後

3 令和元年東日本台風による浸水に関する これまでの対策（ソフト対策）

これまでに実施した浸水対策（ソフト対策）①

- 令和元年東日本台風による浸水を受け、ハード対策と一体となったソフト対策を実施。

水位計・カメラの設置（神奈川県）

三沢川の状況をリアルタイムで把握できるよう、遠隔で確認可能な水位計・カメラを設置。また、ホームページにて公開。



川の水位情報



水位計



カメラ

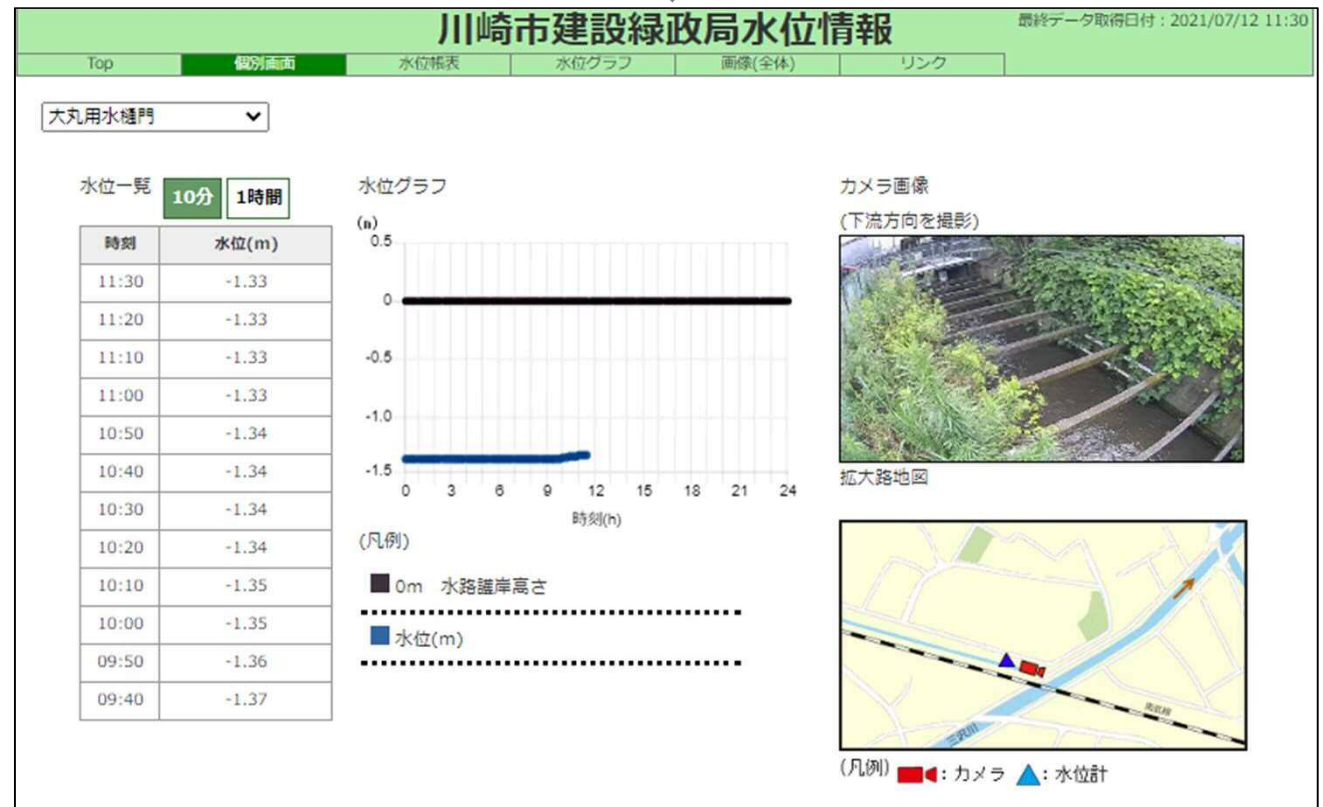
これまでに実施した浸水対策（ソフト対策）②

水位計・カメラの設置

三沢川や水路の状況をリアルタイムで把握できるよう遠隔で確認可能な水位計とカメラを設置。また、市ホームページにて公開。



川崎市建設緑政局水位情報

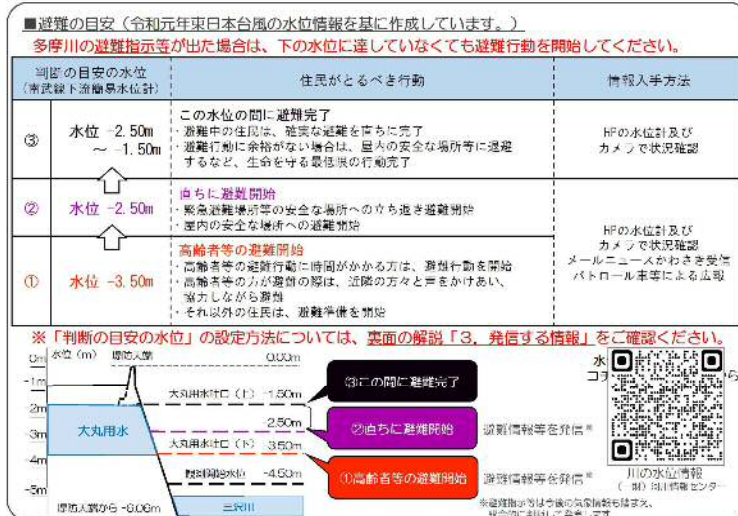


これまでに実施した浸水対策（ソフト対策）③

緊急避難タイムライン(洪水)

「避難判断の目安の水位」「住民がとるべき行動」「情報の入手方法」などを取りまとめた「緊急避難タイムライン(洪水)」を作成し、浸水地域の全戸へ配布。また、市ホームページにて公開。

三沢川下流部周辺地域の緊急避難タイムライン(洪水)



台風や大雨に備えて

台風や大雨などの風水害は、天気予報などで事前に情報を得て、早めの行動ができる災害です。大切な命を守るために、できることから始めてみませんか。



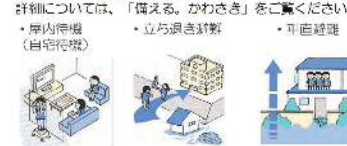
1 災害リスクを確認する

ハザードマップは、洪水による浸水や崖崩れなどの災害が起きる可能性のある場所を示した地図です。自宅が安全が確保できるときは、自宅に留まることも避難の方法です。まずは、ハザードマップで自宅のリスクを確認しておきましょう。



2 避難先や、避難行動を事前に考えておく

天気予報などの情報を知ってから、災害が来るまでの時間をうまく活用することが大切です。いつ、どこに、どうやって避難するかを事前に考えて、いざという時に備えましょう。



3 情報の入手先の確認

情報の入手先について、日頃から確認することが大切です。

- 川崎市ホームページ/川崎市防災気象情報
河川の水位情報のほか、気象レーダーやピンポイント天気予報、降水短時間予測などの情報をホームページで公開しています。
- メールニュースかわさき
登録したメールアドレスに川崎市の防災、気象、災害の情報を配信します。配信を希望する方は、下記アドレスまでEメールを送信してください。(パソコン・スマートフォンから mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp)
- 防災テレホンサービス
防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます。
◇市内の一般加入電話、公衆電話及び一部IP電話 0120-910-174 (通話料なし)
◇携帯電話、PHS、県外の一般加入電話・公衆電話 044-245-8870 (通話料あり)

災害時の連絡先

- 警察等に関すること.....多摩区役所危機管理担当 Tel. 044-935-3146
- 消防、水防、河川に関すること.....多摩区役所建設公設センター Tel. 044-946-0044
- 救護が必要なときは.....消防署 Tel. 119

R4.9

これまでに実施した浸水対策（ソフト対策）④

土のうステーションの設置

土のうを容易に入手し応急対応できるよう、土のうステーションを菅第4公園、上河原水防倉庫に設置。

設置箇所



設置箇所



土のうステーション



土のうステーション

4 堤防の決壊（平成27年9月関東・東北豪雨）

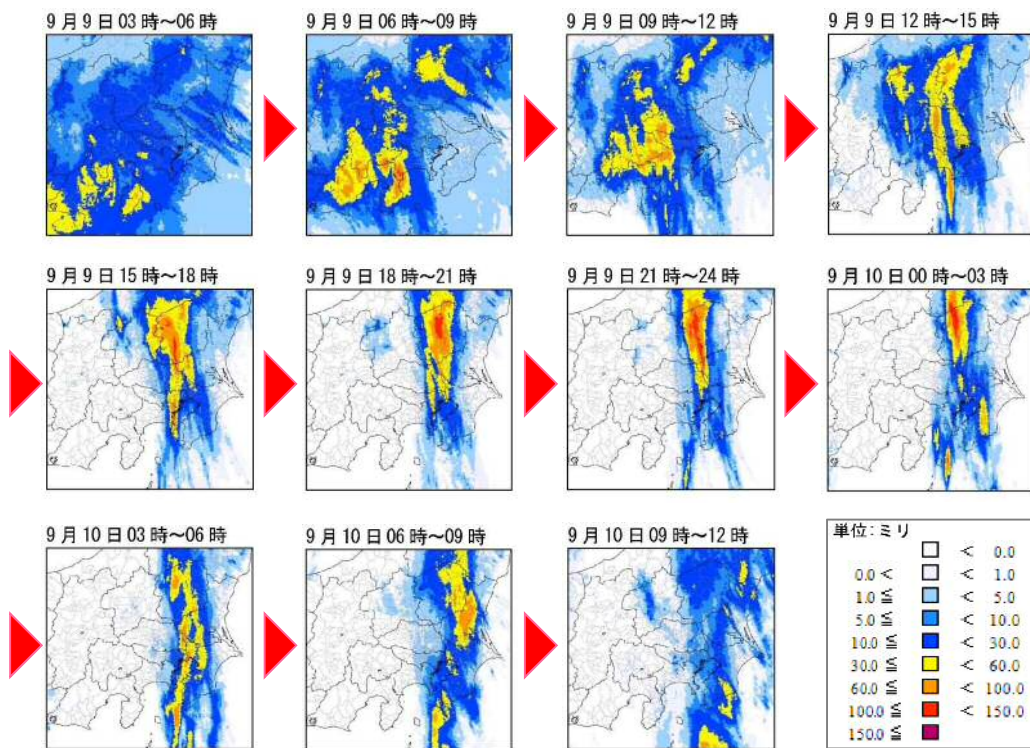
平成27年9月関東・東北豪雨の概況①

平成27年9月関東・東北豪雨時の気象状況等

- 台風第18号及び台風から変わった低気圧により、記録的な大雨となった。
- 9月10日から11日にかけて、関東地方や東北地方では、統計期間が10年以上の観測地点のうち16地点で最大24時間降水量が観測史上最多を更新した。

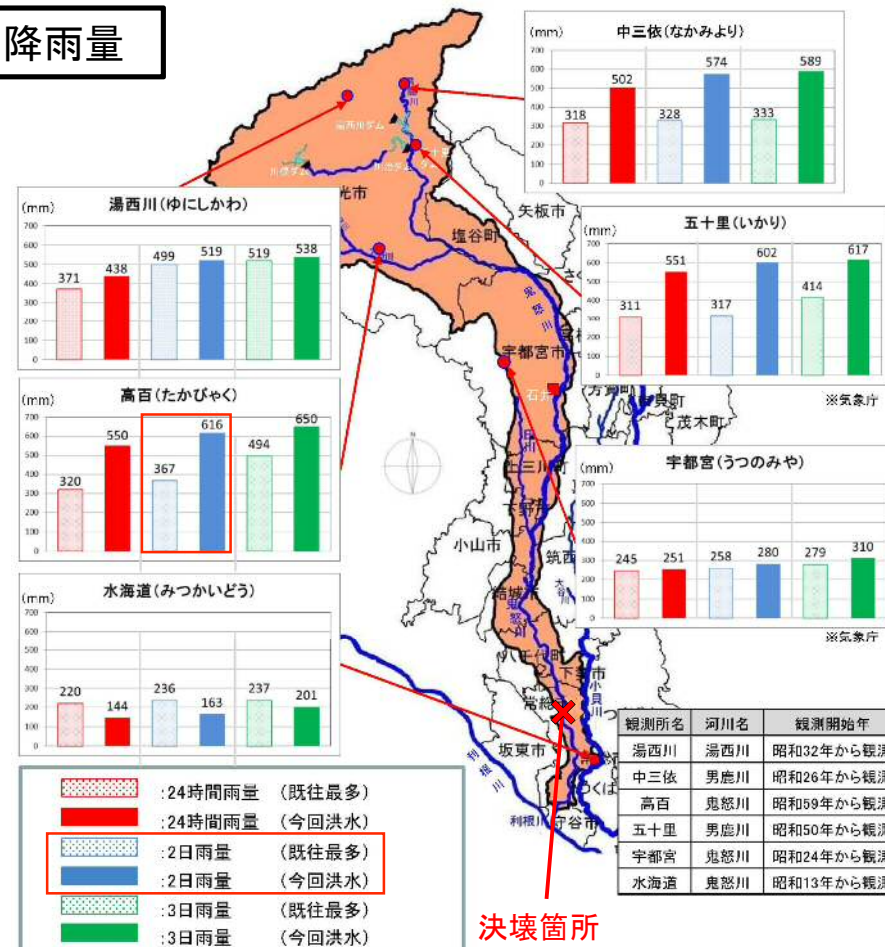
気象状況

解析雨量による3時間降水量分布図



線状降水帯の発生により、同じ地域で雨が降り続いた。

降雨量



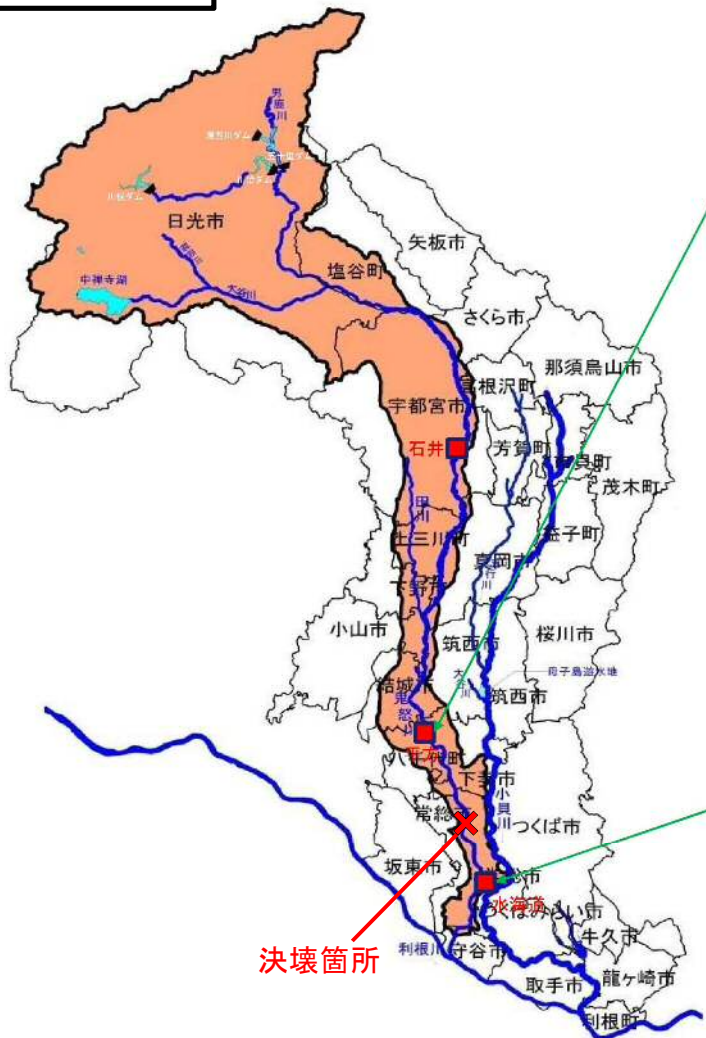
鬼怒川上流で多くの雨が降った(高百:2日間で616mm)。

平成27年9月関東・東北豪雨の概況②

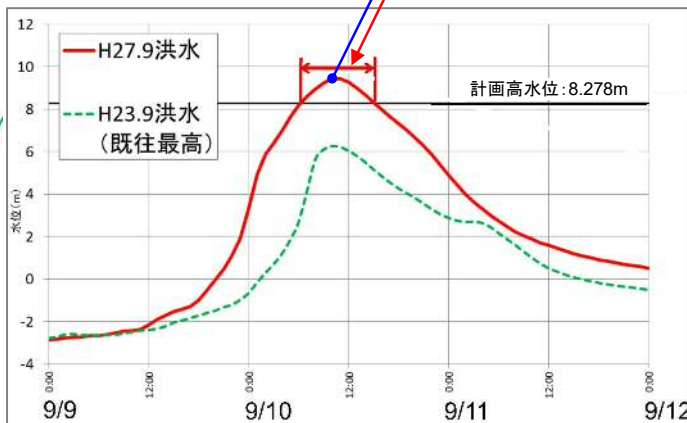
鬼怒川の水位状況

- 平方地点では8時間、鬼怒川水海道地点では5時間にわたり計画高水位を超過した。

水位状況



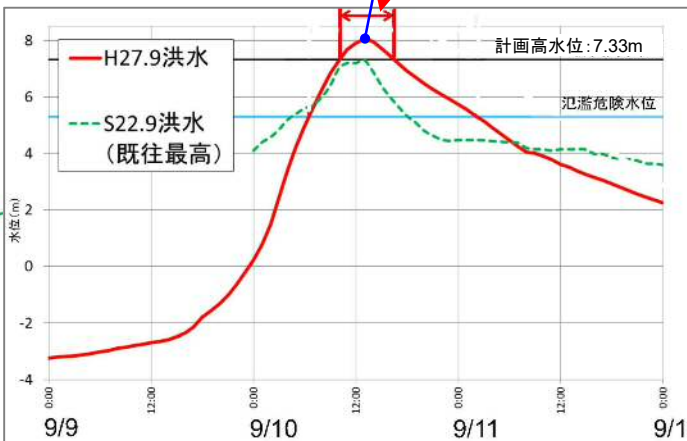
ひらかた
平方地点



最高水位: 9.45m

10日7時~15時までの
8時間にわたり計画高水位を
超過した。

きぬがわみつかいどう
鬼怒川水海道地点



最高水位: 8.06m

10日11時~16時までの
5時間にわたり計画高水位を
超過した。

平成27年9月関東・東北豪雨の概況③

鬼怒川堤防決壊による被災状況

- 鬼怒川の氾濫により広い面積が浸水し、浸水解消まで10日間を要した。
- 避難の遅れ等により多くの住民が孤立し、約4,300人が救助された。

浸水範囲



出典：平成27年9月関東・東北豪雨の情報
(国土地理院)

常総市の約1/3の面積に相当する
約40km² (4,000ha)が浸水した。

被害概要

項目	状況等
人的被害	常総市 (死亡2名、重症3名、中等症21名、軽症20名) (10月30日16時現在)
住家被害	常総市 (全壊53、大規模半壊1,575、半壊3,475、床上浸水148、床下浸水3,072) 結城市 (大規模半壊6、半壊44、床上浸水1、床下浸水155) 筑西市 (大規模半壊68、半壊3、床下浸水18) 下妻市 (全壊1、半壊39、床上浸水16、床下浸水110) つくばみらい市 (半壊13、床上浸水1、床下浸水21)
救助者	ヘリによる救助者数 1,339人 地上部隊による救助者数 2,919人
避難指示等	①避難指示 11,230世帯、31,398人 ②避難勧告 990世帯、2,775人 (※9月24日16時現在・常総市)
避難所開設等	避難者数 7,032人 (※9月11日7時現在・常総市及び下妻市)

(茨城県災害対策本部 平成28年1月22日16時以前の発表資料より
常総市等、関連を抜粋)

救助の様子



屋根からヘリコプターで救助される人



自衛隊員にボートで救出された人たち
防衛省統合幕僚監部

出典：「平成27年9月関東・東北豪雨」に係る洪水被害及び復旧状況等について
(平成29年4月 国土交通省 関東地方整備局)

- 鬼怒川下流域において「水防災意識社会」の再構築を目指し、国、茨城県、常総市等7市町が主体となりハード対策とソフト対策が一体となった緊急対策プロジェクト。

「水防災意識社会」の再構築とは・・・

古来の日本では、水害が日常的に発生

水害を「自分のこととして捉え、自ら対処しようとする」意識が社会全体に根付いていた。

「水防災意識社会」



河川改修が進み、水害発生頻度が減少

社会の意識が「水害は施設整備で発生を防止するもの」へ移り変わった。



施設能力を超える洪水の可能性

社会全体で洪水氾濫に備えるため、「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革する。

「水防災意識社会」の再構築

ハード対策

- 決壊した堤防の復旧
- 高さや幅が足りない堤防の整備
- 洪水時の水位を下げるための河道掘削など



河道掘削の状況

ソフト対策

- 豪雨時の行動を示した「タイムライン」の作成とそれに基づく訓練
- 地域住民等との共同点検
- 広域避難に関する仕組みづくりなど



みんなでタイムラインプロジェクトの様子

みんなでタイムラインプロジェクト

- 自らのリスクを知り、住民一人ひとりの逃げ方を考えることを目指したプロジェクト。

背景

平成27年9月 関東・東北豪雨



約**4300**名が救助された

『逃げ遅れ』が課題

「みんなでタイムラインプロジェクト」
がスタート

内容

- (1) 「マイ・タイムラインノート」の作成
地形の特徴や自宅周辺の浸水リスクなどを知り「マイ・タイムライン」の作成に必要な洪水発生時の防災行動を整理するためのノート。
- (2) 「逃げキッド」の作成
子ども(キッド)も「マイ・タイムライン」が作成できるよう、作成に関するヒント集などをまとめた「マイ・タイムライン」検討ツール。
- (3) 「マイ・タイムラインリーダー認定制度」を制定
マイ・タイムラインリーダー認定講座を開催し、作成指導ができる人材を育成。



5 マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは

- 災害が発生した際に、「いつ」、「何をするのか」を整理した一人ひとりの防災行動計画。
- 事前に予測がしやすい進行型災害に対して、防災行動を時系列に整理し、あらかじめ取りまとめておくことで、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立てることができる。

避難までの流れ



マイ・タイムラインのイメージ

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水位が危険」するまでのそなえをいつのら行うための、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水位が危険」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

市・区・町・村 地区 家 マイ・タイムライン

日時	主けそなえ	そなえの前	避難が難しくなる前に「行かざるべき」までしておく	水の浸透の状況を確認して避難する前に「逃げ遅れ」を防ぐ準備をする時期	身の安全を確認する6時間前
5-3日前	<ul style="list-style-type: none"> 台風が発生 	<ul style="list-style-type: none"> 台風の予報を確認する 避難所を確認する 家の周りに瓦で飛ばされるようなものはないか確認 テレビ、インターネット、携帯電話などで台風の最新情報を確認 避難する時に持っていくものを準備 家族と連絡を取り合う 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が難しくなる前に「行かざるべき」までしておく 	<ul style="list-style-type: none"> 水の浸透の状況を確認して避難する前に「逃げ遅れ」を防ぐ準備をする時期 	<ul style="list-style-type: none"> 身の安全を確認する6時間前
2日前	<ul style="list-style-type: none"> 台風の中心が近づいて、雨や風が強くなる 	<ul style="list-style-type: none"> 台風の中心が近づいて、雨や風が強くなる 避難所を確認する 避難する時に持っていくものを準備 家族と連絡を取り合う 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が難しくなる前に「行かざるべき」までしておく 	<ul style="list-style-type: none"> 水の浸透の状況を確認して避難する前に「逃げ遅れ」を防ぐ準備をする時期 	<ul style="list-style-type: none"> 身の安全を確認する6時間前
1日前	<ul style="list-style-type: none"> 雨が降って、川の水位が危険になる 	<ul style="list-style-type: none"> 雨が降って、川の水位が危険になる 避難所を確認する 避難する時に持っていくものを準備 家族と連絡を取り合う 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が難しくなる前に「行かざるべき」までしておく 	<ul style="list-style-type: none"> 水の浸透の状況を確認して避難する前に「逃げ遅れ」を防ぐ準備をする時期 	<ul style="list-style-type: none"> 身の安全を確認する6時間前
50分前	<ul style="list-style-type: none"> 川の水位が危険になる 	<ul style="list-style-type: none"> 川の水位が危険になる 避難所を確認する 避難する時に持っていくものを準備 家族と連絡を取り合う 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が難しくなる前に「行かざるべき」までしておく 	<ul style="list-style-type: none"> 水の浸透の状況を確認して避難する前に「逃げ遅れ」を防ぐ準備をする時期 	<ul style="list-style-type: none"> 身の安全を確認する6時間前
30分前	<ul style="list-style-type: none"> 川の水位が危険になる 	<ul style="list-style-type: none"> 川の水位が危険になる 避難所を確認する 避難する時に持っていくものを準備 家族と連絡を取り合う 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が難しくなる前に「行かざるべき」までしておく 	<ul style="list-style-type: none"> 水の浸透の状況を確認して避難する前に「逃げ遅れ」を防ぐ準備をする時期 	<ul style="list-style-type: none"> 身の安全を確認する6時間前
0分前	<ul style="list-style-type: none"> 川の水位が危険になる 	<ul style="list-style-type: none"> 川の水位が危険になる 避難所を確認する 避難する時に持っていくものを準備 家族と連絡を取り合う 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が難しくなる前に「行かざるべき」までしておく 	<ul style="list-style-type: none"> 水の浸透の状況を確認して避難する前に「逃げ遅れ」を防ぐ準備をする時期 	<ul style="list-style-type: none"> 身の安全を確認する6時間前

気象庁が発表する大雨注意報等の発表時刻は、イメージで記載しています。避難計画等のタイミングは市区町村によって異なります。市区町村のタイムラインを参照してください。

自分や家族、また地域での備えも含めて一人ひとりの防災行動計画となる「マイ・タイムライン」を作成し、『いざ』という時に備えることが重要。

マイ・タイムラインの周知啓発①

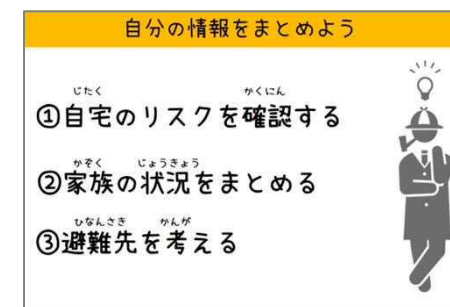
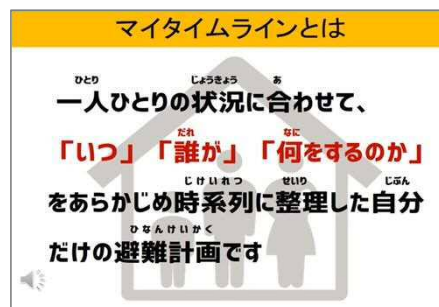
- 令和元年東日本台風をうけて、防災タブロイド誌「号外！備える。かわさき」を発行。（令和2年3月）
- 川崎市公式YouTubeチャンネルにおいて、啓発動画「川崎市ぼうさい出前講座@オンライン（風水害に備える～マイタイムラインをつくろう～）」を配信。（令和2年5月）

号外！備える。かわさき



川崎市ぼうさい出前講座@オンライン

マイタイムラインをつくろう その1 マイタイムラインをつくろう その2



URL: <https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000117220.html>

- その1 「マイ・タイムライン」の紹介とその必要性を解説。
- その2 「マイ・タイムライン」の作成に必要な情報を解説。

マイ・タイムラインの周知啓発②

●かわさき市政だより(多摩区版)に「日頃から 学んで備える 風水害」を掲載。(令和4年5月)

かわさき市政だより(多摩区版)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部イベント等が中止・延期になる可能性があります。最新の情報は各問い合わせ先に御確認ください。

01 たま 区版 多摩区ホームページ <https://www.city.kawasaki.jp/tama/> (区版) 最新の情報を中心に掲載しています。

5 たま 区版 水と緑と学びのまち 多摩区役所 多摩区役所 〒220-8570 川崎市多摩区1-17-1 電話番号 044-935-3113

2022年5月1日発行 多摩区印刷センター印刷 発行部数 22,464部 発行価格 150円(税別)

日頃から学んで備える 風水害

近年、気象変動による風水害が全国的に多く発生しています。雨の日を学んで備えるにあたり、日頃からの風水害対策について学びましょう。備えるために役立つ情報を紹介します。防災情報の発信先は044-935-3113(044-935-3391)。

いざという時に慌てないために! 災害時のよくあるギモンを解決

ギモン1

昨日の天気は大雨が...
ゴミの溜り区域が心配
完全対策はできないか?

→ 一つ、ゴミの置き場所が汚いから臭いしよばい!

→ 一つ、ゴミの置き場所が汚いから臭いしよばい!

解決! 自治体から配布された「ゴミの置き場所」を参考に、指定された指定区域にゴミを捨ててください。自治体から配布された「ゴミの置き場所」を参考に、指定された指定区域にゴミを捨ててください。

ギモン2

インターネットで地域の
防災情報が流れているけど...

→ 自治体の防災情報の信頼性が低いから心配!

解決! 自治体の防災情報は、信頼性の高い自治体の防災情報から取得してください。自治体の防災情報は、信頼性の高い自治体の防災情報から取得してください。

ギモン3

災害時に備えて防災準備
はしているけど...

→ 防災準備が足りないから心配!

解決! 自治体の防災準備チェックリストを参考に、防災準備が足りているかを確認してください。自治体の防災準備チェックリストを参考に、防災準備が足りているかを確認してください。

チェックして学ぶ

多摩区役所防災マップ

多摩区役所防災マップは、多摩区役所防災マップを参考に、防災準備が足りているかを確認してください。多摩区役所防災マップを参考に、防災準備が足りているかを確認してください。

防災情報の発信先

多摩区役所防災マップ

多摩区役所防災マップは、多摩区役所防災マップを参考に、防災準備が足りているかを確認してください。多摩区役所防災マップを参考に、防災準備が足りているかを確認してください。

地域団体の備忘録を一時的に確認が 追加されました

地域の防災により迅速な対応が可能になりました。地域の防災により迅速な対応が可能になりました。地域の防災により迅速な対応が可能になりました。

5月は自転車マナーアップ強化月間

近年、シェアサイクルが身近なものとなりつつあるように、自転車利用や歩行者の増加から自転車利用が増えています。一方で、歩行者は交通事故のリスクが高くなる傾向が懸念されています。この機会に、自転車利用のマナーアップを徹底していきましょう。

防災情報の発信先は044-935-3113(044-935-3391) 多摩区防災センター 044-935-0110

自転車乗車の留意点【必ず守るべき】

- ヘルメット 必ず着用してください。
- シートベルト 必ず着用してください。
- 安全ヘルメット 必ず着用してください。
- ヘルメット 必ず着用してください。

自転車安全利用5原則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外。
- ② 歩道は歩行者専用。
- ③ 歩道は歩行者専用で、歩行者を優先。
- ④ 安全ヘルメットを必ず着用してください。
- ⑤ 飲酒運転は厳禁。
- ⑥ 歩行者優先の歩道は、歩行者優先の歩道で走行してください。
- ⑦ 歩行者優先の歩道は、歩行者優先の歩道で走行してください。

自転車保険に必ず加入

自転車は、歩行者優先の歩道で走行する場合があります。歩行者優先の歩道で走行する場合があります。歩行者優先の歩道で走行する場合があります。

多摩区は4月に50周年を迎えました!

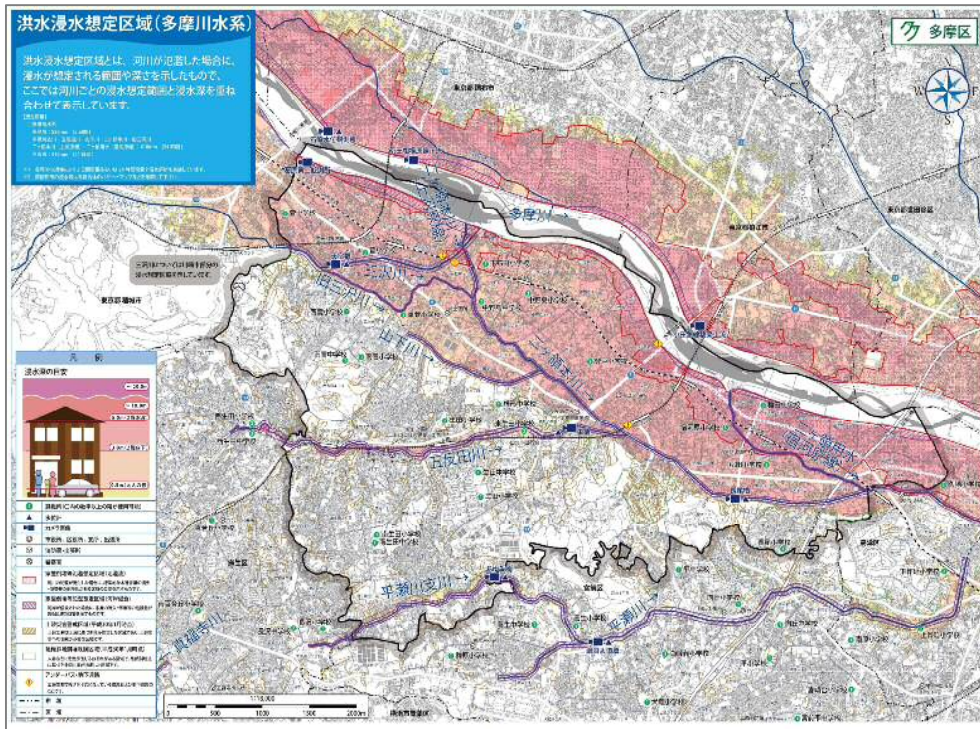
6 洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ①

河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域等を示したもので「地図面」と「情報面」で構成

- 地図面には、「洪水浸水想定区域図」と「浸水継続時間図」を掲載。
- 情報面には、「洪水から身をまもるための基礎知識」や「ハザードマップの使い方」、また「風水害時に役立つ情報の入手先」等を掲載。

地図面



洪水ハザードマップ

情報面



防災マップ
ガイドマップかわさき

洪水ハザードマップ②

- 多摩川流域に「2日間で588mm」の雨が降ることを想定。

想定最大規模降雨の降雨量の算定 (年超過確率1/1,000程度)

(1) 地域の区分

日本を降雨の特性が似ている15の地域に分割。(多摩川は「⑤関東」に該当)



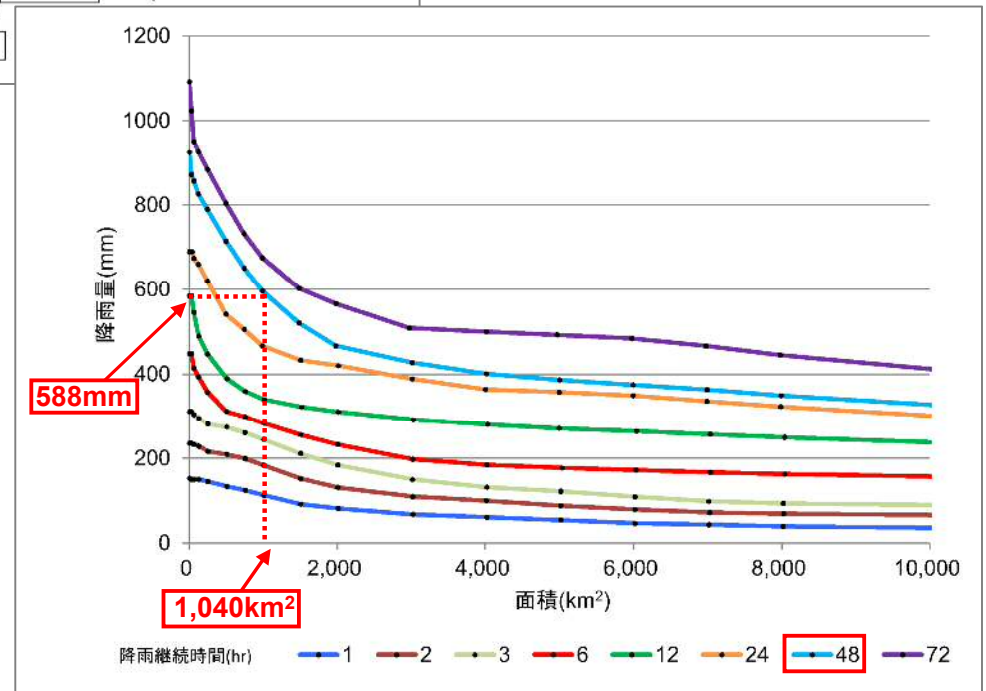
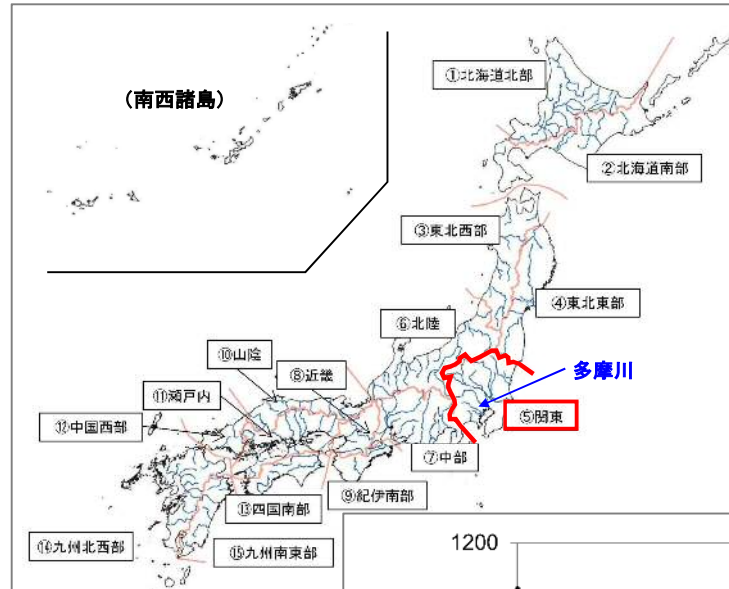
(2) 想定最大規模降雨

地域ごとに、これまで観測された降雨データを基に、降雨継続時間と流域面積による想定最大規模降雨を解析。



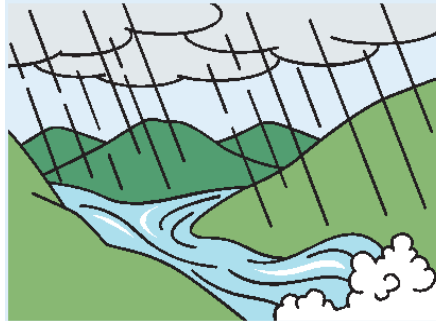
(3) 降雨量の算出

多摩川流域(1,040km²)では、48時間(2日間)で588mmの降雨を想定。

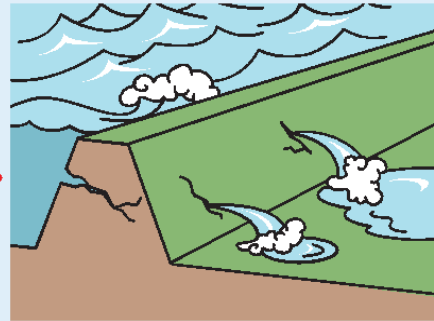


洪水発生メカニズム

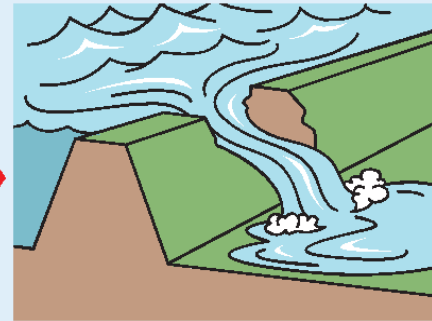
● 洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を越えるなどして起こります。



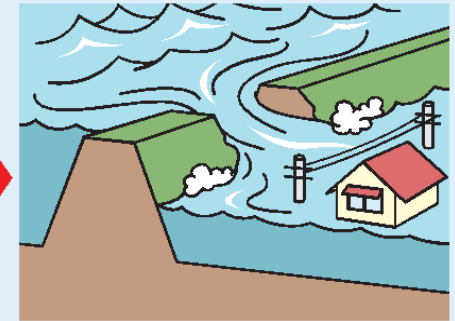
大雨によって川の水が増え、水かさ上がり始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかり始めます。



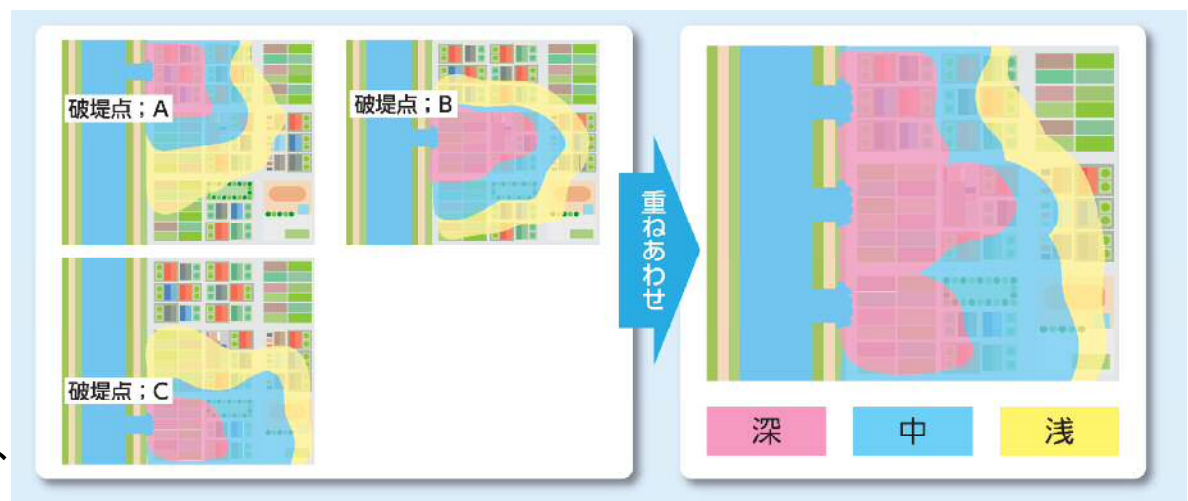
水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。



崩れた場所は一気に広がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。

洪水浸水想定区域の考え方

- (1) すべての破堤点（堤防が決壊すると想定したところ）について、どのように氾濫が発生し浸水が広がっていくか予測計算を行う。
- (2) すべての予測計算結果を重ね合わせ、最大の区域と深さを表示する。
- (3) 実際は、それらのうち限られた箇所（堤防が決壊すると想定したところ）で氾濫が発生し、浸水区域が広がり徐々に深くなる。

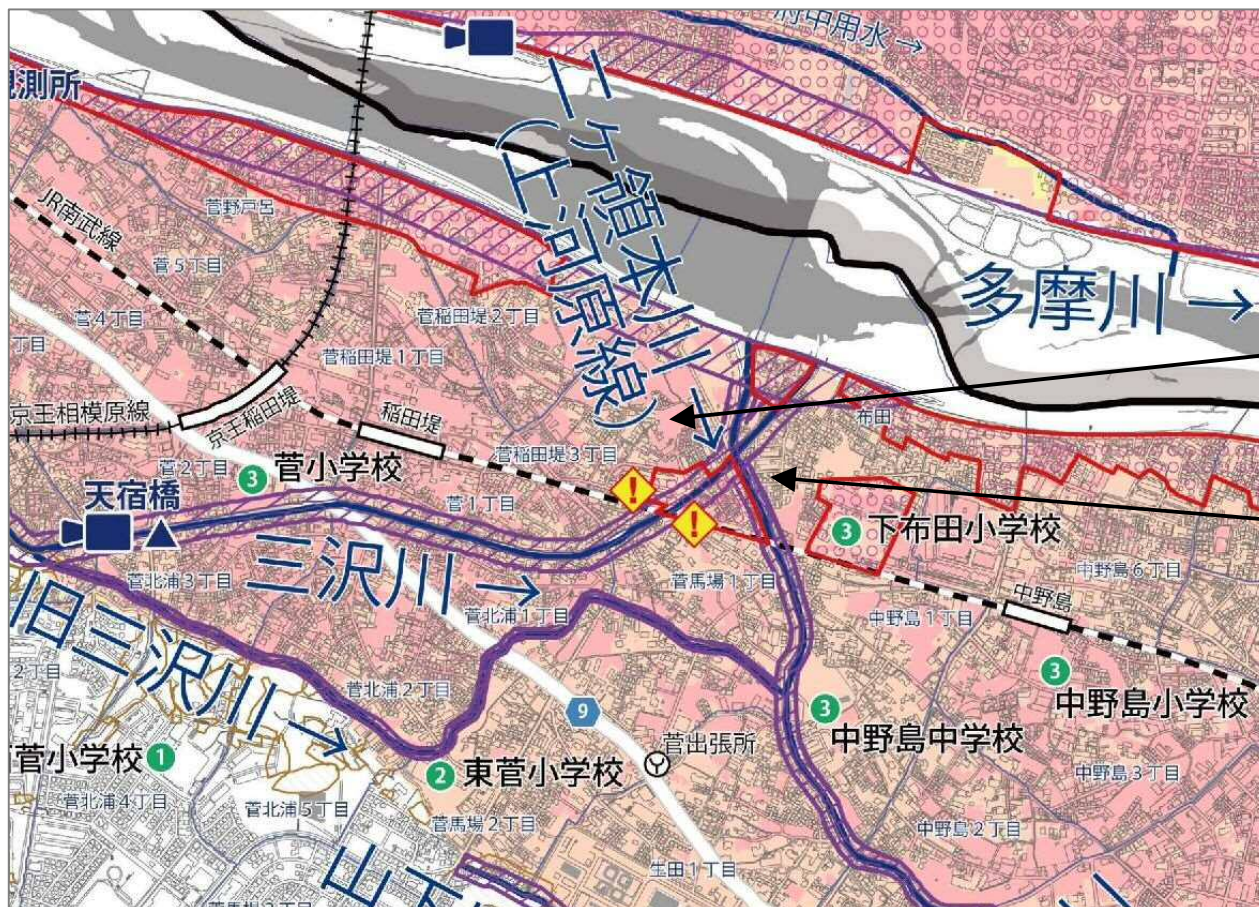


洪水ハザードマップ④

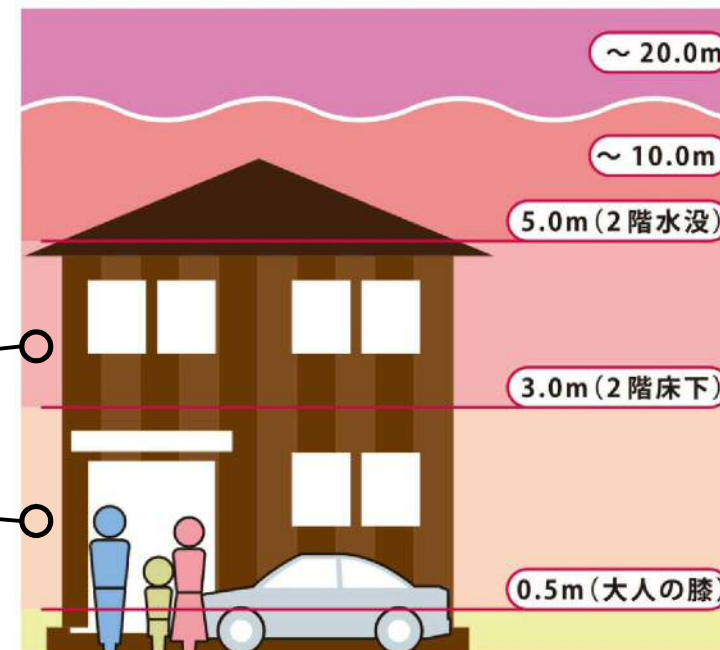
洪水浸水想定区域図

- 河川が氾濫した場合に「浸水が想定される範囲」や「深さ」を示した図面。

洪水浸水想定区域図



深水深の目安



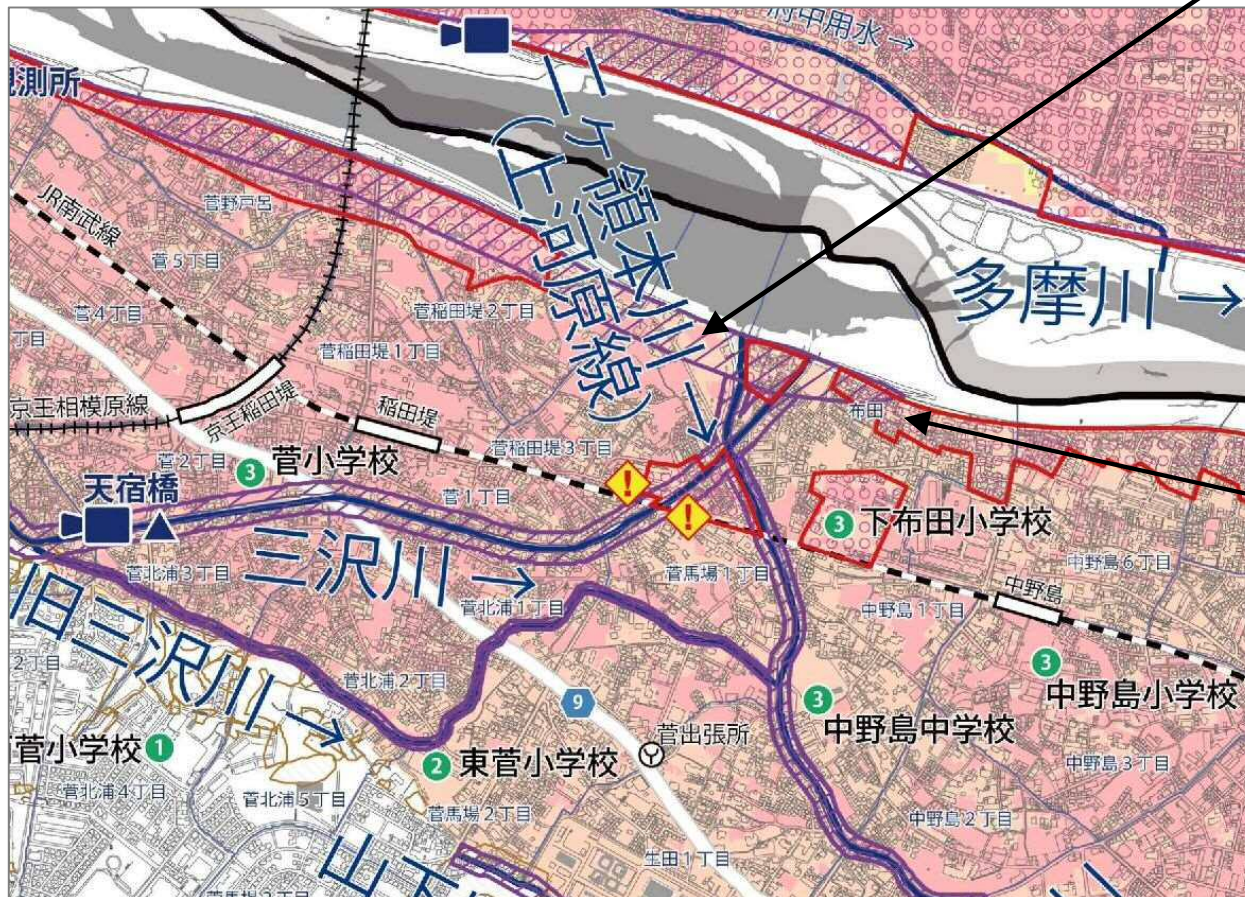
三沢川(J R南武線三沢川橋梁周辺)では、0.5~5.0m程度の浸水を想定。

洪水ハザードマップ⑤

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸侵食）

- 河川が氾濫した場合に「家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域」を示した図面。

洪水浸水想定区域図



 : 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）



河岸侵食による家屋被害のイメージ

河岸が侵食された場合に、家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域。

 : 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）



氾濫流による家屋被害のイメージ

河川の氾濫が発生した場合に、標準的な木造家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域。

洪水ハザードマップ⑥

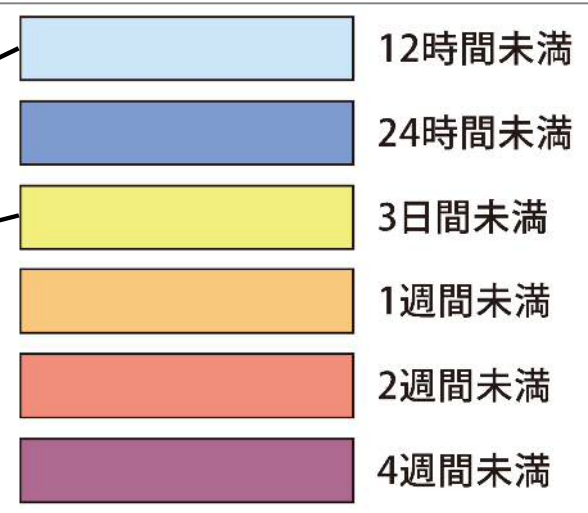
浸水継続時間図

- 河川が氾濫した時に「浸水深が0.5m以上となってから、最終的に0.5m未満となるまでの時間」を示した図面。

浸水継続時間図



浸水継続時間



三沢川(J R南武線三沢川橋梁周辺)では、**12時間未満～3日間未満の浸水継続時間を想定。**

洪水ハザードマップ⑦

避難情報と防災関係情報

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
5	既に災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動を取りましょう。	緊急安全確保 (川崎市が発令)
<警戒レベル4までに必ず避難！>		
4	危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示 (川崎市が発令)
3	避難に時間を要する人（ご高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (川崎市が発令)
2	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報等 (気象庁が発表)
1	災害の心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

防災関係情報		
水位	洪水	降雨
氾濫の発生 または切迫	氾濫発生情報	大雨 特別警報

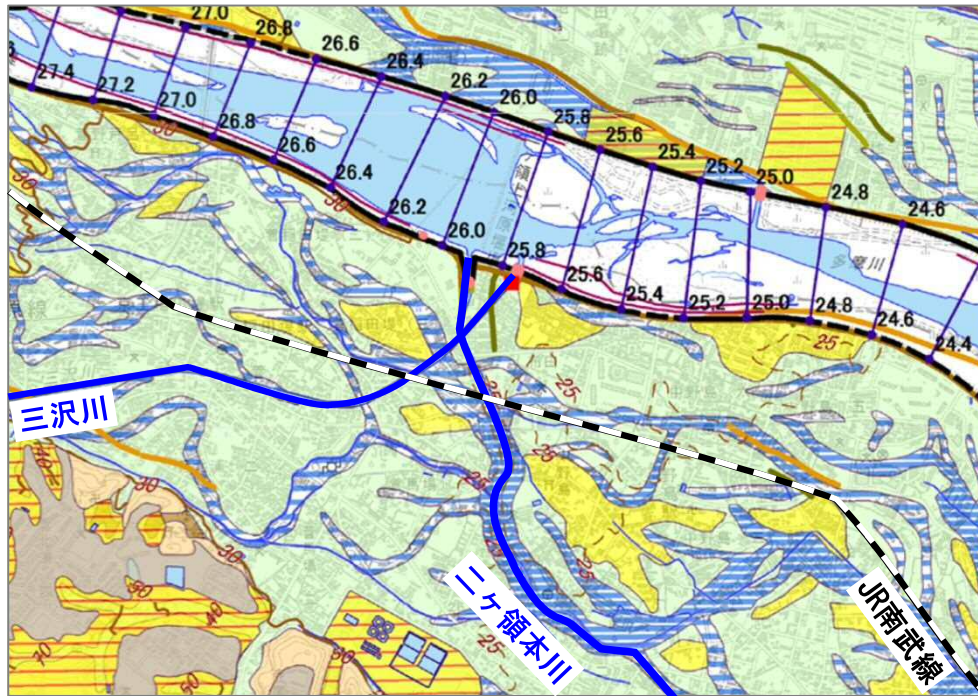
氾濫危険水位	氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
避難判断水位	洪水警報 氾濫警戒情報	大雨警報



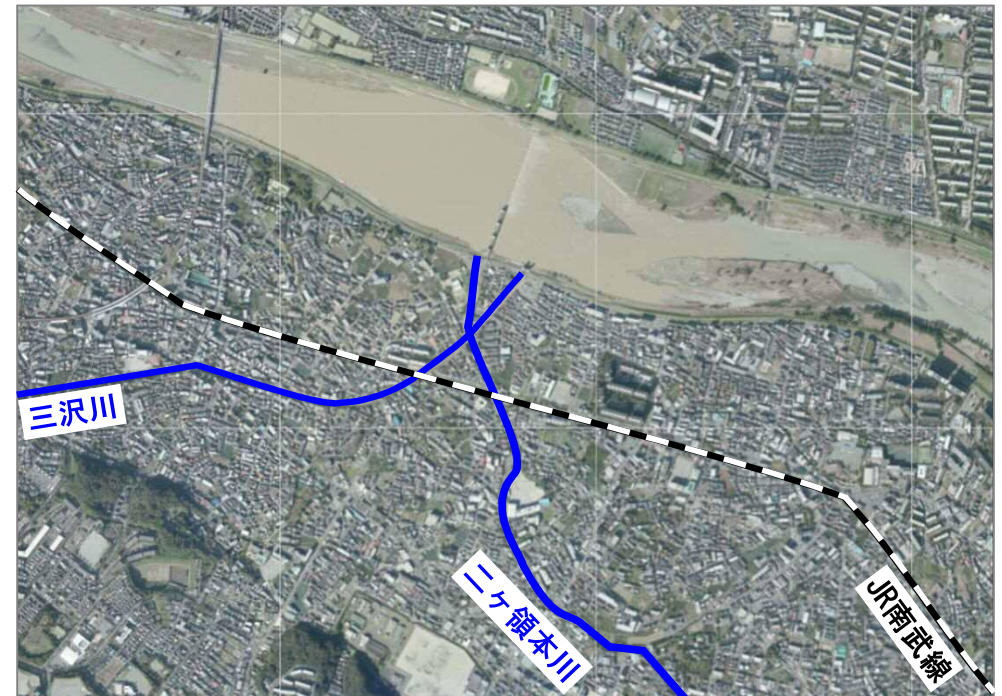
地形の特性①

- 三沢川（JR南武線三沢川橋梁周辺）地域は、「氾濫平野」・「自然堤防」・「旧河道」に分類されており、過去の洪水によって作られた地形である。

治水地形分類図※1



空中写真 (2019年撮影)



凡例

- 氾濫平野※2
- 自然堤防※3
- 旧河道※4
- 山地
- 山麓堆積地形
- 盛土地・埋立地
- 切土地

※1 治水地形分類図：国が管理する河川の流域のうち主に平野部を対象として、詳細な地形分類等を表示している主題図。（国土理地理院作成）

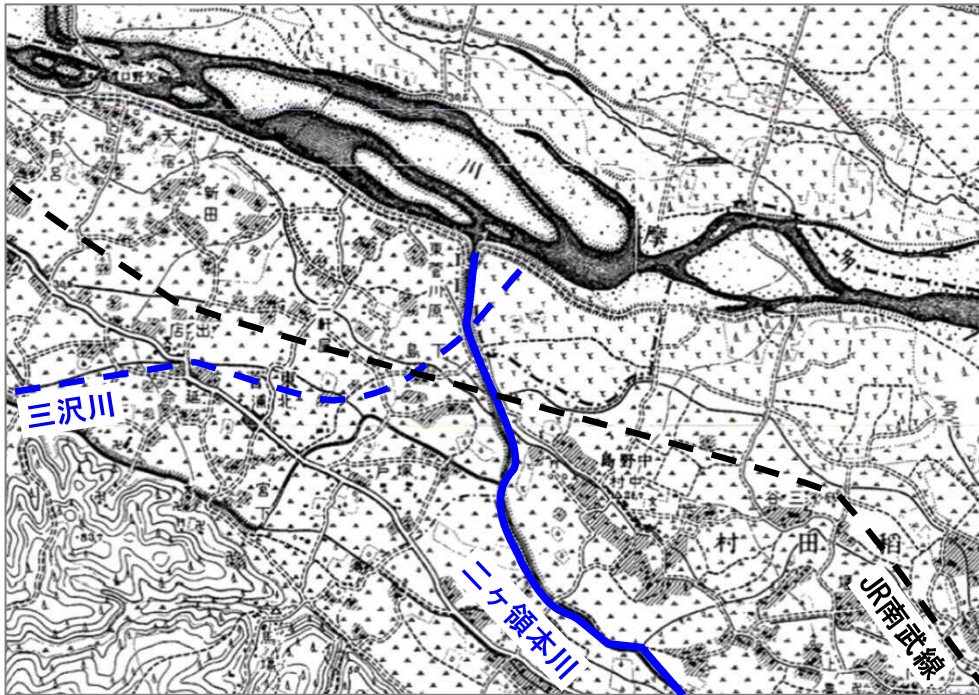
※2 氾濫平野：過去の洪水によって作られた平野。上流部・中流部から運ばれてきた土砂がたまってできた地形。

※3 自然堤防：洪水時に川からあふれ出た水に含まれていた土砂が、川の岸に堆積してできた地形。

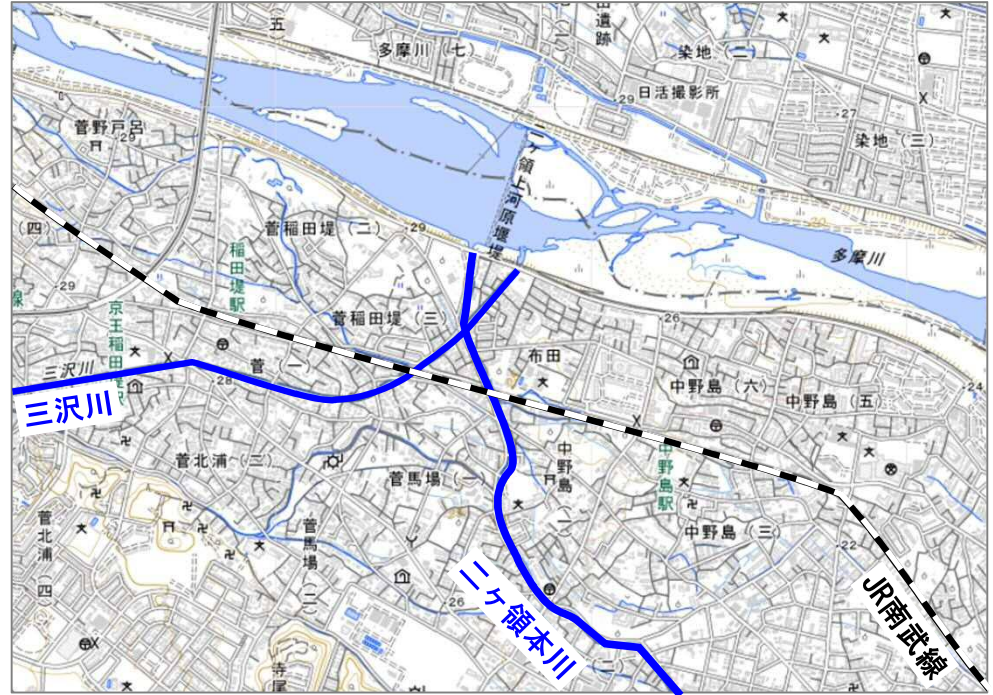
※4 旧河道：昔の川の流れた跡を示す地形。

地形の特性②

地形図 (1896~1909年)



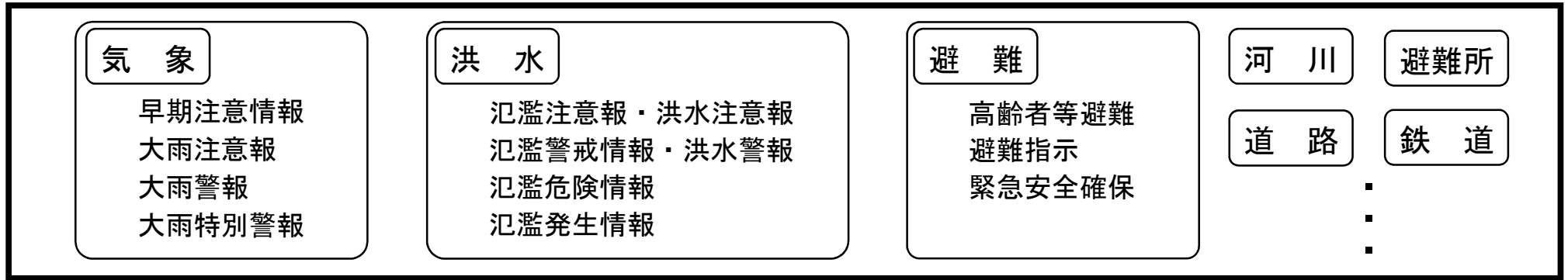
地形図 (2013年)



7 防災情報

防災情報の取得①

- テレビ・ラジオ、防災行政無線などにより、防災情報をお伝えします。



テレビ・ラジオ

- 最も広く普及している情報伝達手法です。テロップ、データ放送（dボタン）などで防災情報をお伝えします。



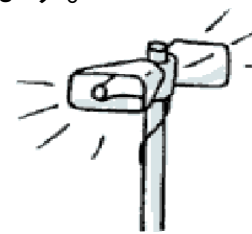
緊急速報メール

- 対象エリア内の携帯電話など（居住者・来訪者双方）にメールで防災情報をお伝えします。



防災行政無線

- 防災行政無線の屋外受信機（スピーカー）から防災情報をお伝えします。



広報車など

- 広報車などで巡回し、防災情報をお伝えします。



市 民

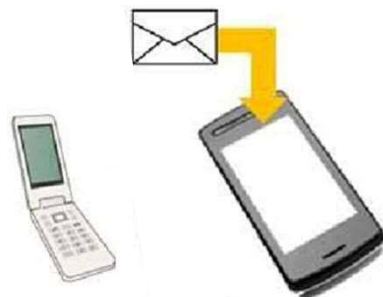
防災情報の取得②

- メール配信の事前登録やインターネットの閲覧などにより、防災情報を取得できます。

市民

メールニュース かわさき

- 事前登録した方に防災情報をお伝えしています。



かわさき 防災アプリ

- アプリをダウンロードした方に防災情報をお伝えしています。



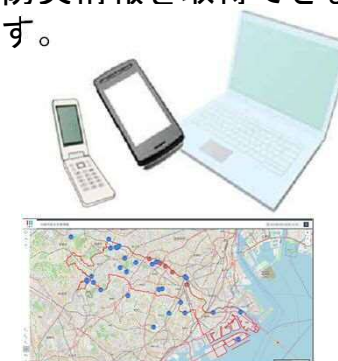
SNS (Twitter・LINE)

- SNS (Twitter・LINE) で防災情報をお伝えしています。



ホームページ

- 各種ホームページを閲覧することで、様々な防災情報を取得できます。



気象

早期注意情報
大雨注意報
大雨警報
大雨特別警報

洪水

氾濫注意報・洪水注意報
氾濫警戒情報・洪水警報
氾濫危険情報
氾濫発生情報

避難

高齢者等避難
避難指示
緊急安全確保

河川

避難所

道路

鉄道

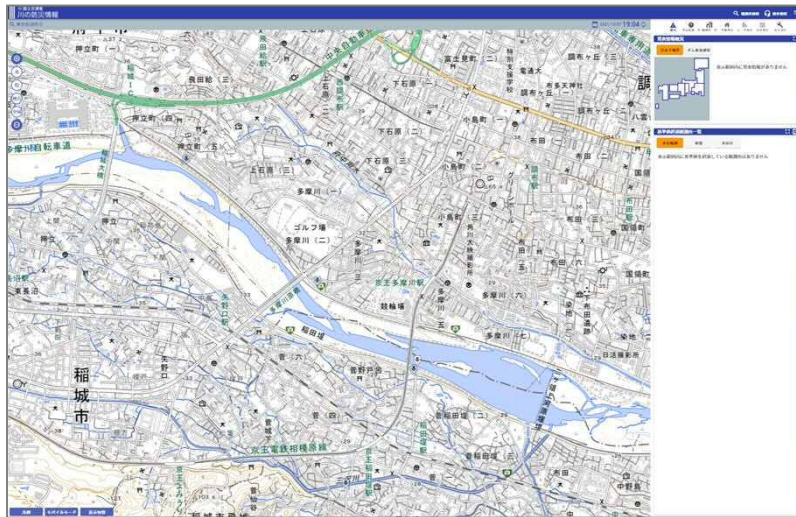
⋮
⋮
⋮

河川の状況（水位計・カメラ）①

川の防災情報(国土交通省)



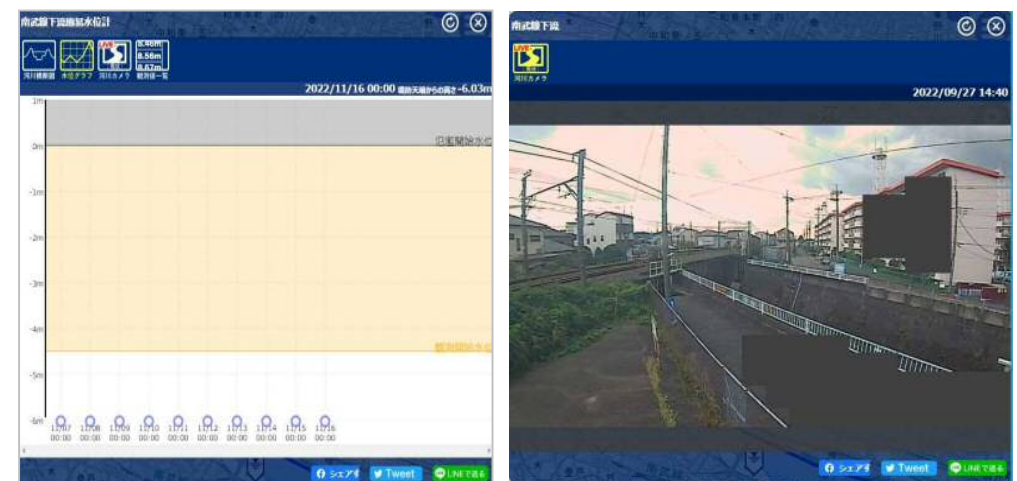
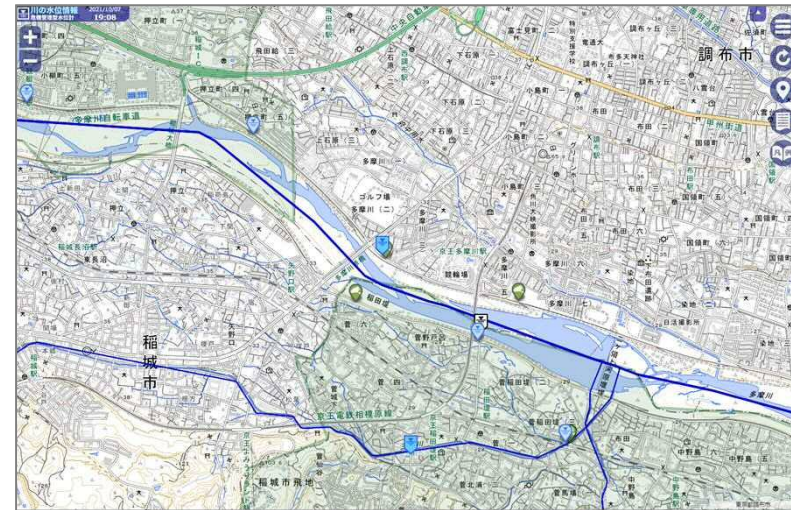
<https://www.river.go.jp/kawabou/pc/>



川の水位情報((一財)河川情報センター)



<https://k.river.go.jp/>



河川の状況（水位計・カメラ）②

雨量水位情報(神奈川県)



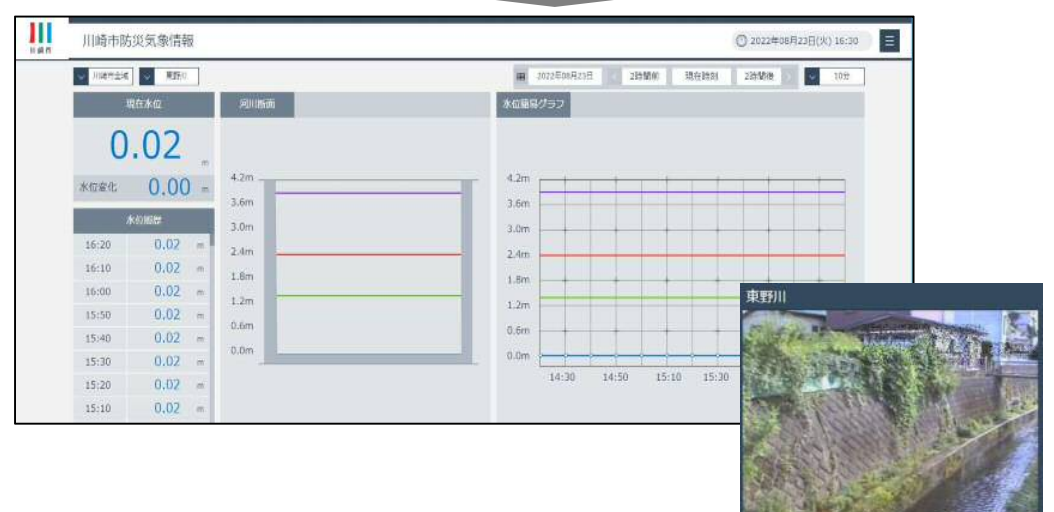
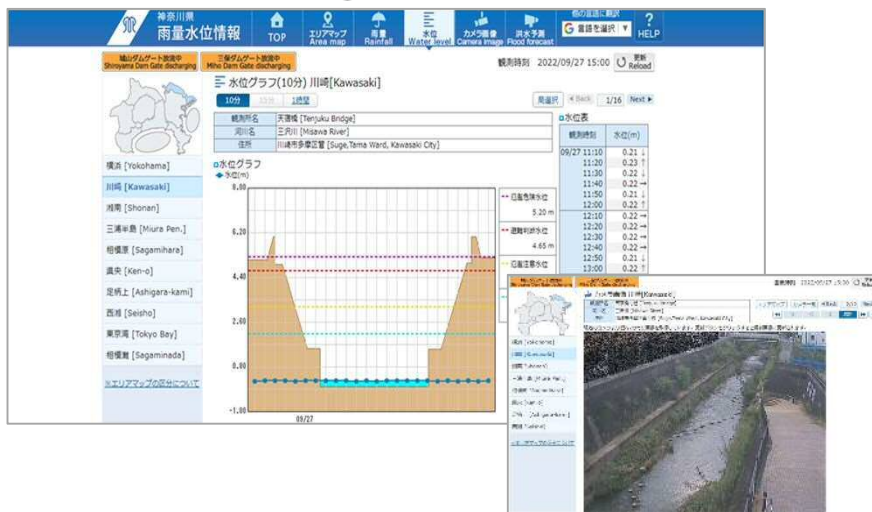
http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/index.html



川崎市防災気象情報(川崎市)



<https://kawasaki.tenki.ne.jp/>



河川の状況（水位計・カメラ）③

川崎市建設緑政局水位情報



<https://kawasakicity.secure.tenki-info.com/>



川崎市上下水道局排水樋管情報



<https://kawasakicity-gutter.secure.tenki-info.com/>



8 マイ・タイムラインの作成

マイ・タイムラインの作成①

(1) どのように備えますか？

(2) どのような情報が必要ですか？

(3) どのタイミング（きっかけ）で避難しますか？

マイ・タイムラインの作成②

(4) 誰と避難しますか？

(5) どこに避難しますか？

(6) どのように避難しますか？

その他

洪水以外のハザードマップ

- 内水ハザードマップ
- 土砂災害ハザードマップ

内水ハザードマップ

川崎市
KAWASAKI CITY

多摩区版

内水ハザードマップ

備え

防ぎ 守る

川崎市では、時間雨量52~58mmに対応した下水道の整備をしていますが、能力を超える大雨や河川の水位が高い時等に、下水道や水路等から水があふれるおそれがあります。内水ハザードマップは、水があふれた時の避難に活用していただくため、あふれる水の範囲や深さ、備え方、防ぎ方、避難方法等の情報をまとめたものです。

想定条件
1時間に153mmの想定最大規模降雨が河川や海の水位がとも高い時に降った場合

堤防からの越流や、堤防が決壊して河川が氾濫した場合を想定した「洪水ハザードマップ」も公表しています。本ハザードマップとは浸水深や浸水範囲が大きく異なりますので、あわせてご確認ください。

令和4年8月版

土砂災害ハザードマップ

川崎市
KAWASAKI CITY

土砂災害 Sediment Disasters 災害 ハザードマップ

土砂災害ハザードマップには、大雨や地震により土砂災害のおそれのある区域を示しています。また、避難場所をはじめ避難に役立つ情報を示していますのでご活用ください。

令和3年9月発行

多摩区

区域の最新情報は神奈川県土砂災害情報ポータルを御確認ください。

発行 川崎市 まちづくり局情報部宅地企画指導課 | 編者 川崎市まちづくり部 7月 044-200-3035